

ライフ 節電生活

昨年3月11日に発生した東日本大震災の影響を受けて、全国の原子力発電所が運転停止。
今夏の電力需給は非常に厳しい状況にあり、一昨年比10%以上の節電が求められています。
先月2日から対象期間となっている『計画停電』。実施されると、日常生活において様々な混乱が発生することでしょう。
「節電」「省エネ」が叫ばれる今、そのような混乱を避けるため、日常生活の中で私たちに何ができるのかを改めて考えてみましょう。

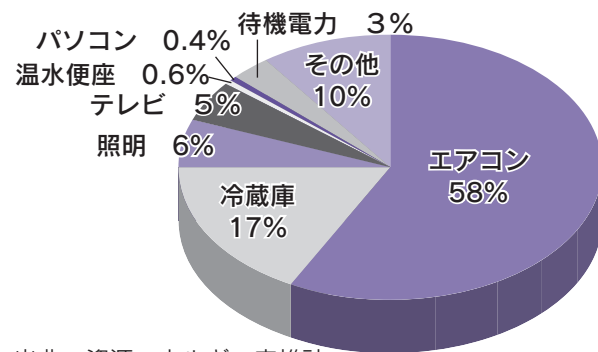
今年も暑い夏がやってきました。今年度は昨年度にも増して、より一層の節電が呼び掛けられています。電力需給がぎわめて厳しいと見込まれる場合、計画停電が実施されます。みんなが快適に生活できるために、自分には何ができるのか。ここでは日々の電力消費、『計画停電』について、今日からでもできる節電の方法などを紹介します。

今年も暑い夏がやってきました。今年度は昨年度にも増して、より一層の節電が呼び掛けられています。電力需給がぎわめて厳しいと見込まれる場合、計画停電が実施されます。みんなが快適に生活できるために、自分には何ができるのか。ここでは日々の電力消費、『計画停電』について、今日からでもできる節電の方法などを紹介します。

日常で何に一番電気を使う？

各家庭で日常使用している電気。夏の時期に主に使用する電

夏の午後2時頃の電気機器の使われ方



出典：資源エネルギー庁推計

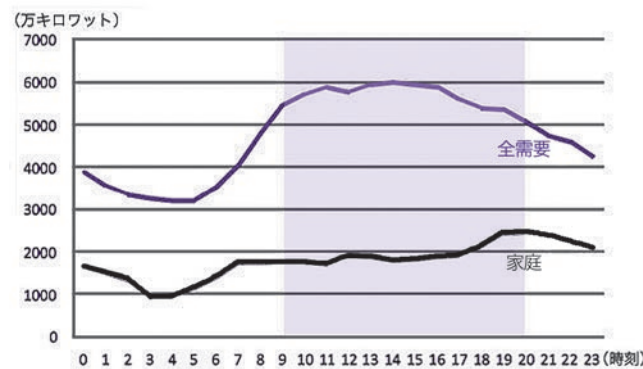
化製品で電気の使用量が最も多いのはエアコンで、全体の半分以上を占めています。次に冷蔵庫、照明、テレビと続いており、これらで日常の電力使用のほとんどを占めていることとなります。これらは生活する中で必要不可欠なものばかり。それぞれ使い方を工夫して、節電に取り組みしましょう。



午後1～5時に重点的な節電を

夏は日差しが強く、すぐに気温が上昇し、エアコンの使用が多くなります。そのため、一日の中で最も気温が高くなる午後2時頃に最も電力需給が多くなります。午前8時30分から午後9時までの時間帯に節電が求められています。特に一日の電力使用量が多くなる午後1時から午後5時頃にかけては重点的に節電をする必要があります。エアコンをなるべく使用することなく、快適に過ごすための工夫が必要です。

夏期の一日の電力需要



『計画停電』ってなに？

計画停電とは、電力需給のひっ迫（予備率3%未満）が予想され、あらゆる節電対策を行っても電力不足が解消されない場合に限り、やむを得ず実施するものです。

計画停電の対象時間期間は7月2日から9月7日までの午前8時30分から午後9時までとなっています。九州を大きく6つのグループに分け、それぞれ時間帯を少しずつずらして2時間程度の停電が行われます。

計画停電までの流れ

電力需給のひっ迫が予想される場合には、前日の午後6時頃までに九州電力からホームページやラジオCM、テレビなどを通じて「需給ひっ迫警報」が公表され、節電が呼び掛けられます。

その後、節電が行われても警報が解除されない場合、実施約2時間前までに再度メディアを通じて計画停電の実施が公表されます。

町では、警報が発令された時と計画停電実施前には、有線放送を通じて各世帯へ周知を行っています。

計画停電サブグループの確認

計画停電は6つのグループをさらに細かく分けたサブグループごとに実施されます。

- ▽大字千代・津奈木・福浜…B26
- ▽大字岩城…B30
- ▽大字小津奈木…対象外

世帯においては対象外となっている場合もありますので、詳しくは6月末までに送付してありますダイレクトメールをご確認ください。

【計画停電問い合わせ先】
九州電力八代営業所

☎0120・986・606